

銘柄分析レポート：いぶし銀ファンド（2019年版）

1 はじめに

私が勝手に「いぶし銀ファンド」と呼んでいる株式投信があります。苦瓜達郎氏の運用している大和住銀日本小型株ファンドです。

長らく良好な成果を上げてきたこのファンドも、小型株が厳しい状況となった直近の状況には抗えず、直近1年間のパフォーマンスはマイナス23.1%にとどまりました。

苦瓜氏は、6月10日付の運用報告書にて、次のように述べています。

当期の株式市場は、諸々のリスクを過度に織り込んでしまったと判断しています。世界景気が調整局面に入ったのは事実ですが、決して全面的な後退ではなく、まだら模様の状況となっています。

したがって、株式市場が現状を再認識する局面になれば、過度に売り込まれた製造業関連の銘柄は反発が期待できると考えています。当ファンドでは、今後も製造業関連を中心に、割安株投資を継続します。

現状を必要以上に悲観せず、投資方針を堅持する姿勢は立派です。

今回の銘柄分析レポートでは、毎年恒例ともなっている、この「いぶし銀ファンド」の投資銘柄の中から2銘柄を取り上げます。

★大和住銀日本小型株ファンド 組入銘柄の明細 2019年6月10日現在

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
建設業 (6.1%)			
第一カッター興業	89.1	89.1	160,825
日本電技	71.8	64.6	178,489
富士古河E&C	250	47.5	85,262
第一建設工業	20.7	11.6	18,745
大成温調	15.3	15.3	26,055
高橋カーテンウォール工業	80	80	52,000
食料品 (0.9%)			
大冷	72.3	—	—
太陽化学	47.6	47.6	80,444
パルプ・紙 (0.0%)			
ハビックス	1	1	633
朝日印刷	2.2	—	—
化学 (9.7%)			
本州化学工業	150	150	179,850

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
日本ビグメント	16.6	16.6	35,407
ロンシール工業	80	80	136,000
タカギセイコー	22	15.3	37,576
松本油脂製薬	3.3	3.3	34,749
ソフト99コーポレーション	45.6	46.2	42,319
ナトコ	50	50	57,200
エス・ディー・エス・バイオテック	44.8	23.9	20,291
上村工業	10.3	10.4	65,208
東洋ドライルーブ	—	6.4	13,772
OATアグリオ	14.9	14.2	19,269
三光合成	3.3	111.6	35,488
ムトー精工	78.8	78.8	37,666
パーカーコーポレーション	247	247	115,596
ゴム製品 (4.0%)			
朝日ラバー	—	81.1	50,768

注) ほぼ3カ前のデータであり、売却されているかもしれない銘柄の含まれている点に注意が必要です。直近の組入上位10銘柄に関しては、月次開示資料でチェックできます。

http://www.daiwasbi.co.jp/products/search/fund_data/fund_data.php?code=22311046